

目次 日本歯周病学会 専門医認定申請用チャート作成ソフトウェア

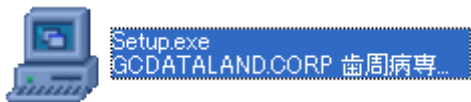
- 1 セットアップ…2
 - 1.1 プログラムのインストール…2
 - 1.2 プログラムのアンインストール…4
 - 1.3 プログラムの再インストール…4
 - 1.4 画面解像度の変更方法…5
- 2 入力画面の説明…6
- 3 プログラムの起動…7
- 4 患者情報を登録…8
- 5 警告メッセージ…9
- 6 検査データの入力…10
 - 6.1 キーボードを使用しての入力操作…10
 - 6.2 検査値入力方法…12
 - 6.3 歯の状態（残存歯）入力方法…14
 - 6.4 入力データを保存する…15
 - 6.5 チャート表示/印刷画面への切替…16
 - 6.6 表示データの削除…16
 - 6.7 登録済みデータの削除…16
 - 6.8 プログラムの終了…16
 - 6.9 データのバックアップ手順…17
 - 6.10 バックアップデータの復活手順…17
- 7 チャート表示と印刷…18
 - 7.1 チャート表示画面の構成…18
 - 7.2 チャートの見方…19
 - 7.3 印刷見本…21
 - 7.4 印刷…22
 - 7.5 表示の終了…22

1、セットアップ

1. プログラムのインストール

1-1. インストール

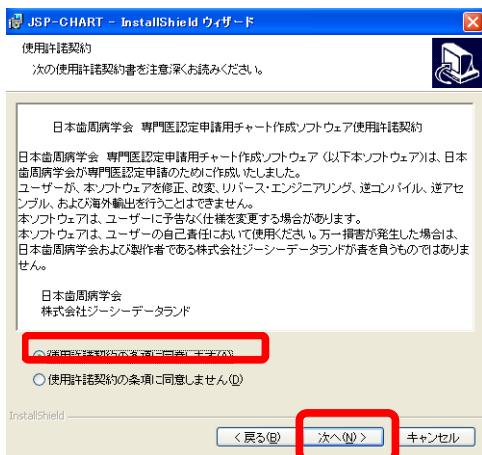
ダウンロードしたファイルを解凍すると、フォルダが作成されます。フォルダの中の Setup.exe をクリックするとインストール画面が表示されます。



1-2. インストール

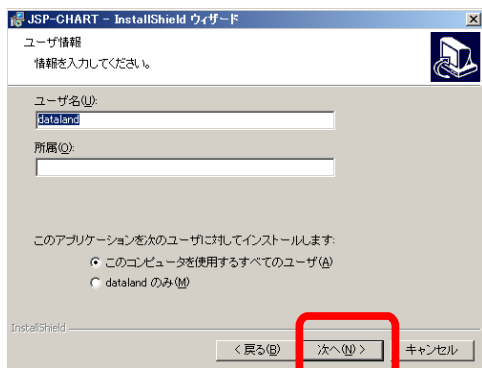
使用許諾契約画面

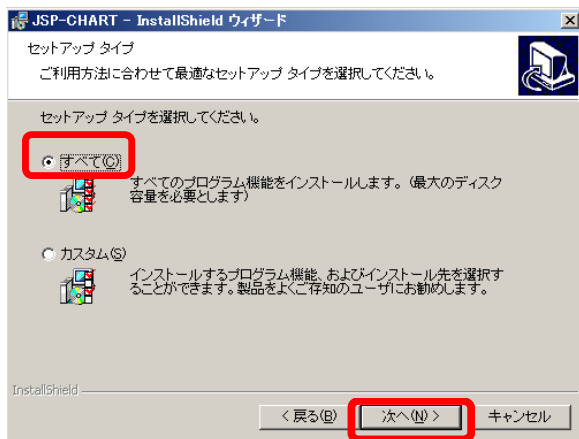
「使用許諾契約の条項に同意します」を指定。「次へ」を選択します。



1-3. ユーザ情報

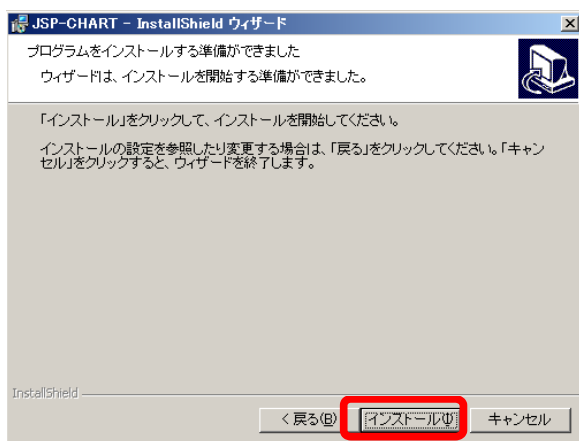
ユーザ名、所属の入力項目 = 自由設定。左図を参照の上、「次へ」を選択します。





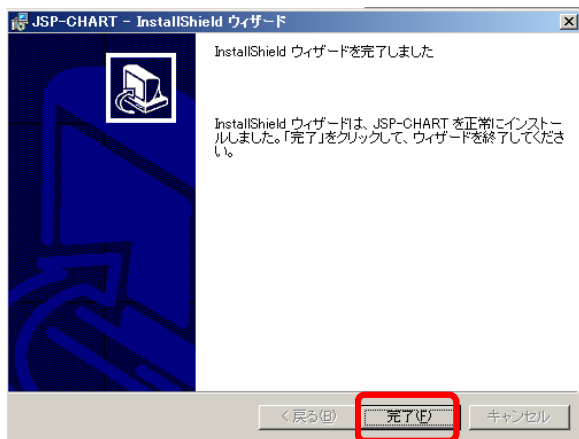
1-4. セットアップタイプ

「すべて」を指定。「次へ」を選択します。



1-5. インストールの開始

インストールを選択します。



1-6. インストールの完了

完了を押して、終了します。

2、プログラムのアンインストール

2-1. プログラムの終了

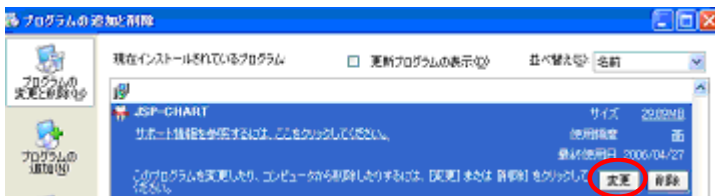
プログラムを終了します。

2-2. フォルダのバックアップ

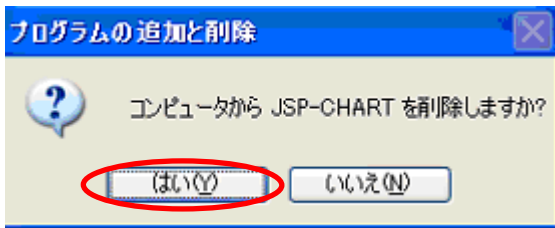


C:\Program Files\JSP-GCDLフォルダの中のpnaviJSP.MDBファイルを別の場所にコピーを行いバックアップを取ることを推奨します。

2-3. アンインストール



スタート→コントロールパネル→プログラムの追加と削除を選択。「JSP-CHART」を選び、「削除」を選択します。

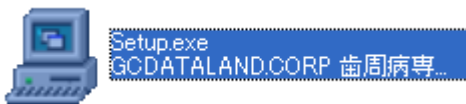


選択後、「コンピュータからJSP-CHARTを削除しますか？」のメッセージが表示されます。「はい (Y)」を選択します。選択後削除が完了します。

3、プログラムの再インストール

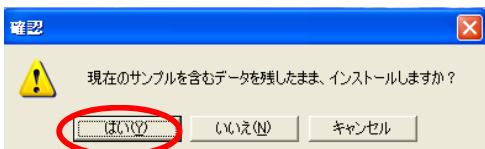
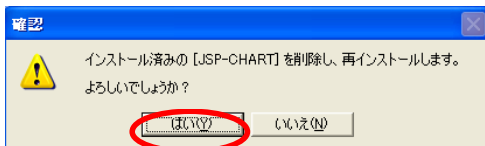
3-1. 注意

再インストールを行う前に、データを削除せず、再インストールするとメッセージが表示されます。



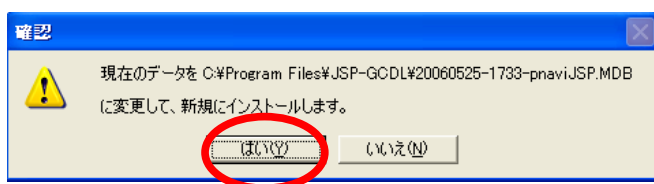
Setup.exe をクリックするとインストール画面が表示されます。

(データはC:\Program Files\JSP-GCDLフォルダ内にあるPnaviJSP.MDBファイルです) 削除してもよい場合は「はい (Y)」を選択します。



次に「現在のサンプルを含むデータを残したまま、インストールしますか？」で「はい (Y)」を選択します。

3-2. 再インストールの開始



新しいデータ =
C:\Program Files\JSP-GCDL
フォルダ内にあるPnaviJSP.MDB
現在のデータ =
C:\Program Files\JSP-GCDL
¥ (保存年月日 - 時刻) -PnaviJSP.MDB
に名称変更し、保存されます。

実行後、検査結果はC:\Program Files\JSP-GCDL\PnaviJSP.MDBに記録されます。
画面を確認後、「はい (Y)」を選択します。
選択後、プログラムの再インストールを開始します。(その後の操作は手順1-1以降を参照ください)
終了後、デスクトップのJSP-CHARTアイコンから起動してください。

4. 画面解像度の変更方法

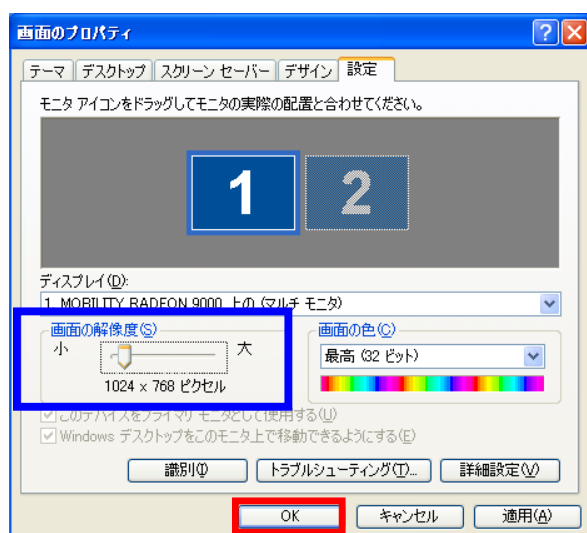
4-1. 画面上を右クリックして「プロパティ」を選択する。

4-2. 画面の解像度

解像度を→大の方向へ移動します。

4-3. 画面の解像度 (変更後)

サイズを大きくしたのを確認して「OK」を押し、画面のプロパティ画面を押します。



本プログラムは画面解像度 1024 x 768 で最適に表示できるようにしてあります。画面解像度が1024 x 768より小さい場合は画面に収まらず、適正な操作ができません。上記の手順を参考に、変更をお願いします。

2. 入力画面の説明

- ①患者番号 1から10までが登録可能です。
- ②治療ステージ 初診時 基本治療終了時 SPT① SPT②を切り替えます。
- ③医院用患者番号 最大15桁まで入力可能。院内で使用するカルテNoなどを入力し患者管理に使用します。
- ④検査日
(西暦：4桁または下2桁入力 月：2桁または1桁 日：2桁または1桁で登録できます)
- ⑤申請者氏名 申請者名を入力します。
- ⑥1患者削除ボタン 患者番号1から10まで登録された患者情報とすべての登録済み検査データ1つを削除できます。
- ⑦表示データ削除ボタン 登録済みの画面選択表示中の治療ステージのいずれかのデータを選択表示し、1つを削除できます。
- ⑧歯周ポケット(入力用セル) 1～16までの数値と出血、排膿の有無が入力可能です。
- ⑨歯の動揺度(入力用セル) 0～3までの数値が入力可能です。
- ⑩根分岐部病変(入力用セル) I～Ⅲまでの数値が入力可能です。
- ⑪数値入力ボタン 0から16以上まで用意されています。
- ⑧⑨⑩の検査にあわせて、数値入力ボタンが有効/無効に変化します。
- ⑩根分岐部病変入力選択中は1～3までのボタン操作が有効になります。

⑫ 出血 排膿操作ボタン

出血 ボタンを押すと数値部分が出血（赤表示）に変化します。

出血一括 ボタンを押すと一括選択中に変更。選択部分が出血（赤表示）に変化します。

一括選択中に変化したボタンをもう一度クリックすると出血一括に変わり、一括入力が無効になります。

排膿 ボタンを押すと数値の周囲が黄色に変化します。

排膿一括 ボタンを押すと一括選択中に変更。選択部分の数値の周囲が黄色に変化します。

一括選択中に変化したボタンをもう一度クリックすると排膿一括に変わり、一括入力が無効になります。

⑬検査値クリア 該当検査箇所のデータをクリアします。

⑭歯の状態登録ボタン

MT 該当歯を欠損歯にします。選択部分の歯番が青く変化します。

インプラント 該当歯をインプラントにします。選択部分の歯番がクリーム色に変化します。

ポンテック 該当歯をポンテックにします。選択部分の歯番がピンク色に変化します。

⑮チャート表示/印刷切り替えボタン

登録したデータを印刷する際、一度チャート表示画面に切り替える際に使用します。

⑯保存

本画面を選択し、検査データを登録後、なるべく「保存」ボタンを押すようにしてください。

⑰終了

本プログラムの作業を終了する際に押します。

3. プログラムの起動

3-1. 起動



アイコンをダブルクリックします。

3-2. 起動画面

画面が表示されます。

4. 患者情報の登録

4-1. 患者番号選択

1から10までの番号をプルダウンメニューより選択します。(99はサンプルデータです)

患者番号	1
検査日	2
	3
	4
歯周病	5
B	6
D	7
	8
	9
	0

4-2. 治療ステージ選択

治療ステージを選択します。

初診時	1998/08/12
初診時	1998/08/12
基本治療終了時	1999/03/29
SPT①	2001/01/19
SPT②	2004/06/16

4つのうちどれかから選択してください。

4-3. 医院用患者番号入力

医院用患者番号を入力します。(最大15桁まで登録可能です)。

医院用患者番号	12345
---------	-------

4-4. 検査日の入力

検査日を入力します。

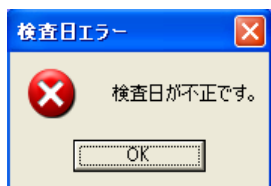
検査日	1998	08	12
-----	------	----	----

4-5. 申請者の入力

申請者氏名を入力します。

申請者氏名	歯周 太郎
-------	-------

5. 警告メッセージ



<検査日が不正です>

4-4. 検査日にて年月日の入力規則にない数字を入力した場合に表示されます。



<範囲外エラー>

4-1. 患者番号で11以上の数値を入力した場合に表示。患者番号を登録するは1から10までの候補の中から選択して、患者情報の入力を行ってください。




6. 検査データの入力

6-1. キーボードを使用しての入力操作




(*画面は日本語109キーボードで説明。機種により配列が異なる場合がございます。ご注意ください)






1. ポケット測定

 ~ 	ポケット測定値の1~9		 ~  を押す
 +  ~ 	ポケット測定値の10~16+		<input checked="" type="checkbox"/> を押して、  ~  を押す











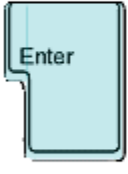










2. 動揺度測定

 ~ 	動揺度測定値の0~3		
---	------------	---	--

3. 根分岐部病変

 ~ 	分岐部測定値のI~III		
---	--------------	---	--

4. その他の操作

キー	機能	表示	備考
 または  +  または  + 	前へ		 を押す または  を押したまま、  を押す または  を押したまま、  を押す
 または  +  または  + 	次へ		 を押す または  を押したまま、  を押す または  を押したまま、  を押す
	未検査		ピリオドを押す

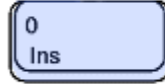


テンキーボードを使用しての入力操作






1. ポケット測定

 ~ 	ポケット測定値の1 ~ 9		<input type="checkbox"/> 1 ~ <input type="checkbox"/> 9を押す
 +  ~ 	ポケット測定値の10 ~ 16		<input checked="" type="checkbox"/> を押して、 <input type="checkbox"/> 0 ~ <input type="checkbox"/> 6を押す


2. 動揺度測定

 ~ 	動揺度測定値の0 ~ 3		
---	--------------	---	--

3. 根分岐部病変

 ~ 	分岐部測定値の I ~ III		
---	-----------------	---	--

4. その他の操作

キー	機能	表示	備考
	未検査		ピリオドを押す

6-2. 検査値入力方法

16 以上		
13	14	15
10	11	12
7	8	9
4	5	6
1	2	3
0		

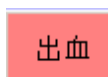
各検査別に以下の数値入力ボタンが有効になります。

ポケット測定の場合	入力ボタン(アクティブ)	1~16
動揺度測定の場合	入力ボタン(アクティブ)	0~3
根分岐部病変の場合	入力ボタン(アクティブ)	1~3

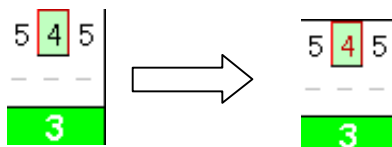
ポケット測定時の出血、排膿入力の手順

出血

1、「出血」を押します。



2、ポケット入力で選択した箇所を押します。押すと黒(出血なし)から赤(出血あり)へと変わります。

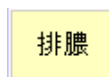


3、出血を取り消す場合は該当の入力部位を押すと「出血なし」に戻り、通常の数値入力へ移ります。この場合も歯式番号上をクリックすると、該当歯のポケット全部が“出血なし”になります。

4、一括選択中を解除する場合は、「一括選択中」ボタンを押すと「出血一括」に戻り、通常の数値入力へ移ります。

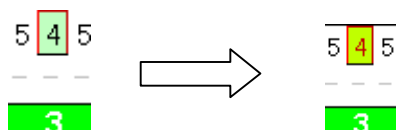
排膿

1、「排膿」を押します。



2、ポケット入力で選択した箇所を押します。

3、押すと黒(排膿)から周囲黄色(排膿あり)へと変わります。



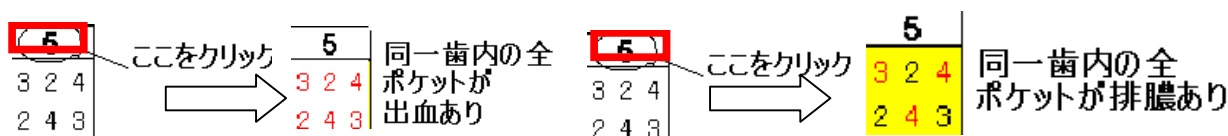
出血および排膿を一括入力する

1、「出血一括」を選択します。選択後「一括選択中」へと変わります。「排膿一括」を選択後「一括選択中」と変わります。



2、ポケット一箇所のみをクリックすると1ポケットのみ。歯番上をクリックすると、該当歯のポケット全部が“出血あり”になります。(解除する場合はもういちど繰り返す)

ポケット一箇所のみをクリックすると1ポケットのみ。歯番上をクリックすると、該当歯のポケット全部が“排膿あり”になります。(解除する場合はもういちど繰り返す)



3、一括出血、一括排膿一括選択中を解除する場合は、「一括選択中」ボタンを押すと「出血一括」に戻り、通常の数値入力へ移ります。排膿を取り消す場合は該当の入力部位を押すと「排膿なし」に戻り、通常の数値入力へ移ります。この場合も歯式番号上をクリックすると、該当歯のポケット全部が“排膿なし”になります。

検査値クリア

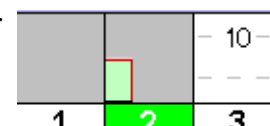
入力したデータを修正する場合は、そのデータの上に再入力すればよいですが、消去する場合に「検査値クリア」を使用します。

ポケット測定の場合

- 1、カーソルを移動して、検査値クリアを押します。
- 2、指定したポケット測定値入力箇所が— (未検査) に変わります。

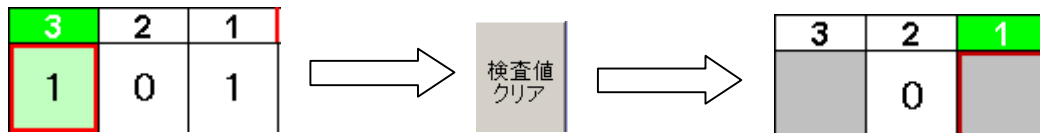


- 3、1歯の測定部位(6点)全部未検査の場合は、グレー表示。
1歯の測定部位(6点)のうち、1点でも数値が入っている場合は、未検査部分を—として表示します。



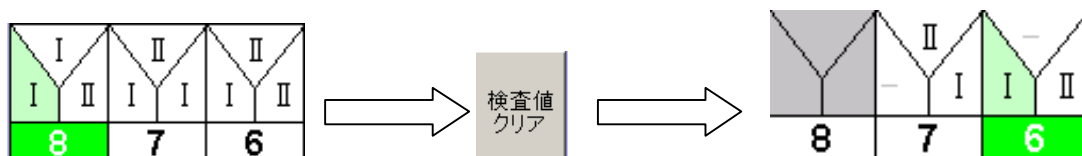
動揺度測定の場合

1. カールを移動して検査値クリアを押します。
2. 指定した動揺度測定値入力箇所がグレー（未検査）に変わります。



根分岐部病変の場合

1. カールを移動して検査値クリアを押します。
2. 指定した測定値入力箇所がグレー（未検査）に変わります。
3. 1 歯の測定部位が全部未検査の場合は、グレー表示。
1 歯の測定部位のうち、1箇所点でも数値が入っている場合は、未検査部分をー表示します。

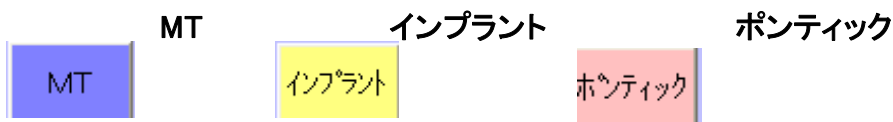


6-3. 歯の状態（残存歯）入力方法

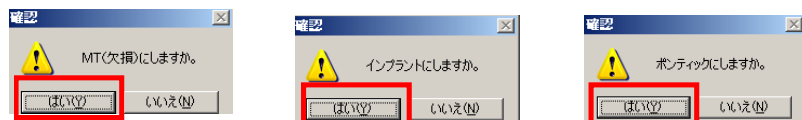
残存歯の状態からMT、インプラント、ポンティックの状態を登録変更する方法を説明します。操作の流れは共通です。（インプラントのみポケットの検査データの入力が可能です）

歯の状態を変更

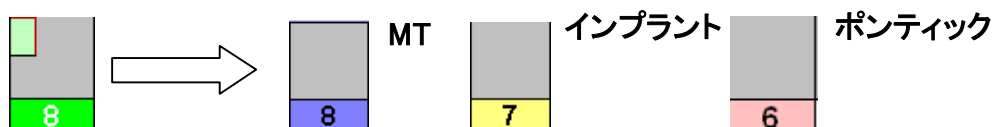
1. ボタンを選択します。



2. 歯式の数値部分にかールを合わせ押しますとメッセージが表示されます。「はい」を選択します。

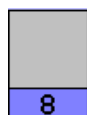


3. 左図のように歯式が変化します。

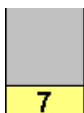


入力したMT（欠損）、ポンティック、インプラントの設定解除、変更方法

1、設定された以上の歯式にカーソルを合わせます。



MT

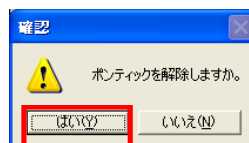
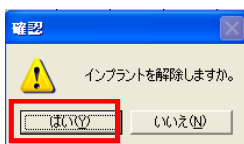


インプラント



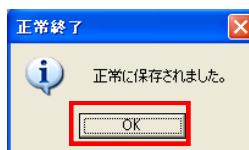
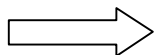
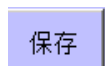
ポンティック

2、解除しますか。表示に「はい(Y)」を選択します。



6-4. 入力データを保存する

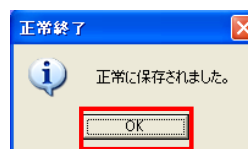
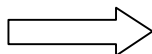
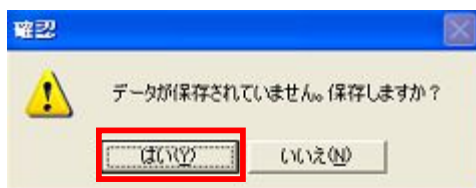
1、データ入力後完了後、保存ボタンを押します。



* 保存ボタンを押さない場合はOKを押して、表示を閉じます。

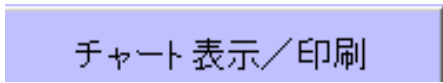
例：保存を押さずに「終了」、または ×（ウィンドウ右上）を押してプログラムを終了した場合。

2、「データが保存されていません。保存しますか？」のメッセージで「はい(Y)」を選択します。



終了の場合は、その後バックアップ→終了へ進みます。

6-5. チャート表示/印刷画面への切り替え

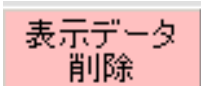


チャート表示/印刷ボタンを押します
(手順 7へ進みます)

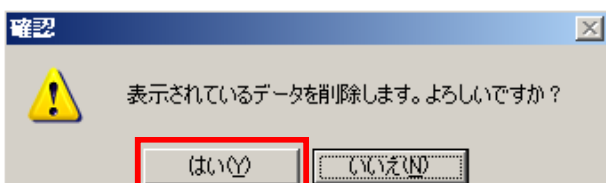
6-6. 表示データの削除

選択中の患者で4つのうち1つを削除する場合に使用します

1、削除したいデータを①の1、治療ステータスのプルダウンから選択し、1患者選択を押します。



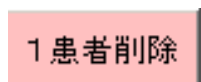
2、メッセージ確認後、はい (Y) を選択します。



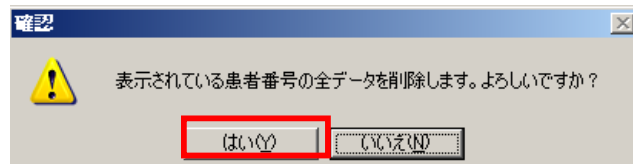
6-7. 登録済みデータの削除

登録済み患者の全データをする場合に使用する機能です。

1、1患者削除ボタンを押します。



2、メッセージ確認後、はい (Y) を選択します。



6-8. プログラムの終了

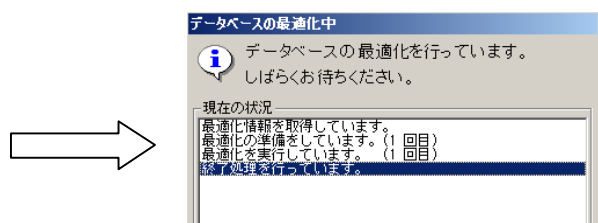
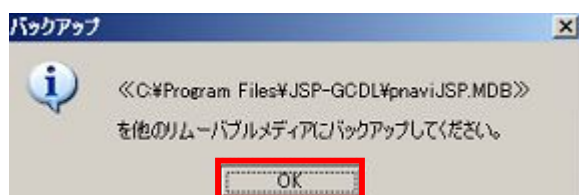
1、終了ボタンを押します。

2、登録中データが保存されていない場合は下のメッセージが表示されます。



3、下のメッセージのファイルを、別のメディアにバックアップすることをお勧めします。

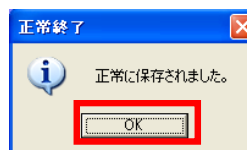
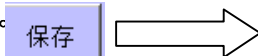
4、「OK」を押して終了します。



6-9. データのバックアップ手順

1、データ入力後完了後、保存ボタンを押します。

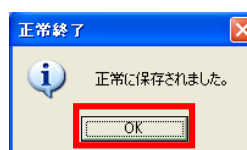
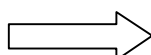
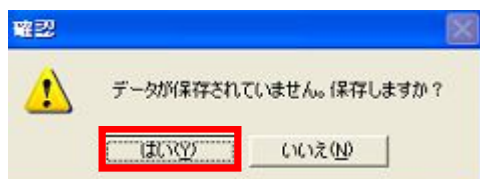
OKを押して、表示を閉じます。



* 保存ボタンを押さないで終了した場合。

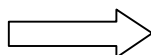
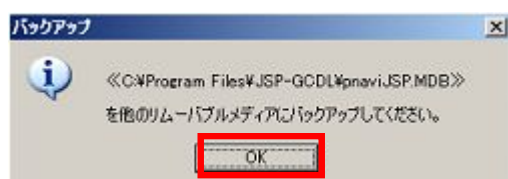
例：保存を押さずに「終了」、または ×（ウィンドウ右上）を押してプログラムを終了した場合。

「データが保存されていません。保存しますか？」のメッセージで「はい (Y)」を選択します。

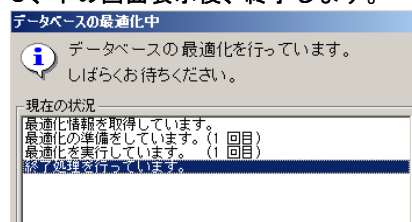


2、終了前のメッセージ表示。OKを押します。

表示後、OKを押して閉じます。



3、下の画面表示後、終了します。



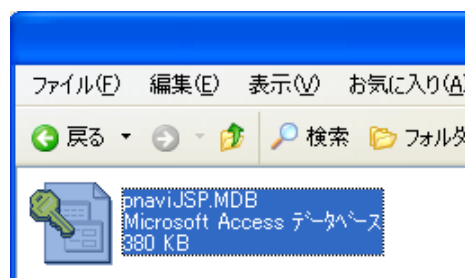
4、データを別の場所に保存

保存場所はC:\Program Files\JSP-GCDL

フォルダの中にあるPnaviJSP.MDBファイルです。

定期的にCD-R/WやUSBメモリなどに保存

することをお勧めします。



6-10. バックアップデータの復活手順

PnaviJSP.MDBファイルをセットアップしたC:\Program Files\JSP-GCDLにコピーします。

(以前登録したPnaviJSP.MDBがバックアップ先の中に存在する状態でコピーした場合)

右画像のように「ファイルの上書きの確認」メッセージが表示されます。

ファイルの日付＝

本プログラムで最後に

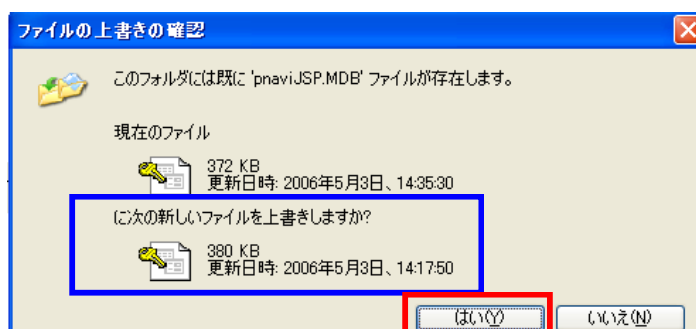
バックアップ（終了作業）

を行った日付です。

ファイルがで正しければ

「はい (Y)」を

選択してください。



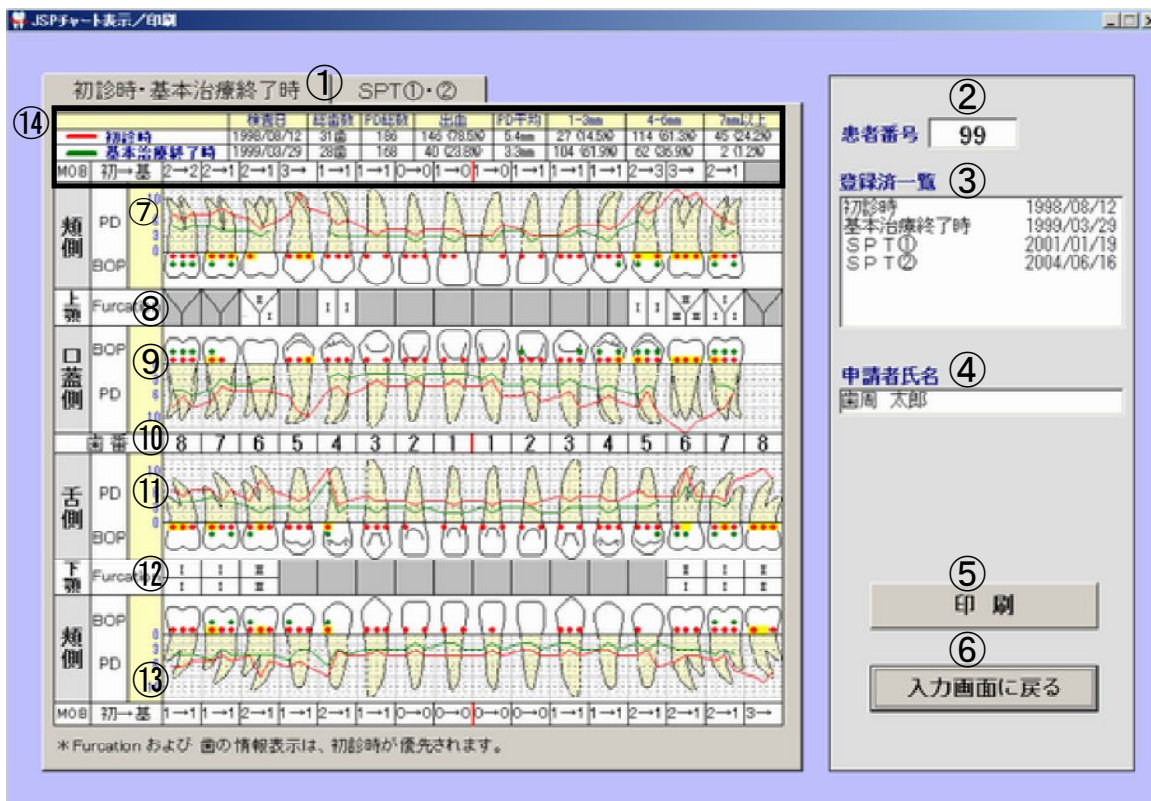
7、チャート表示と印刷

7-1. チャート表示画面の構成

登録済み患者データに登録した治療ステータス別にタブ切り替えして表示します。

左のタブ：初診時・基本治療終了時

右のタブ：SPT①、SPT②



出血、チャートグラフは、初診時：赤 基本治療終了時：緑

SPT①：青 SPT②：水色 に表示されます。

- ① (治療ステータス) 切り替えタブ (2画面) ②患者番号 (選択中の患者)
- ③登録済 (治療ステータス) 一覧
- ④申請者氏名 ⑤印刷ボタン ⑥入力画面に戻るボタン
- ⑦上顎 頬側 ポケットチャート
- ⑧上顎 根分岐部測定結果 ⑨上顎 口蓋側 ポケットチャート ⑩歯式番号
- ⑪下顎 舌側 ポケットチャート ⑫下顎 根分岐部測定結果
- ⑬下顎 頬側 ポケットチャート

⑭

1 2 3 4 5 6 7 8

	検査日	総歯数	PD総数	出血	PD平均	1-3mm	4-6mm	7mm以上								
初診時	1998/08/12	31歯	186	146 (78.5%)	5.4mm	27 (14.5%)	114 (61.3%)	45 (24.2%)								
基本治療終了時	1999/03/29	28歯	168	40 (23.8%)	3.3mm	104 (61.9%)	62 (36.9%)	2 (1.2%)								
MOB	初→基	2→2	2→1	2→1	3→	1→1	1→1	0→0	1→0	1→0	1→1	1→1	1→1	2→3	3→	2→1

- 1、検査日付 2、総歯数 検査日付の測定対象歯数を表示します。
- 3、PD総数 検査対象ポケット総数を表します。
- 4、出血 検査時の出血ポケット数と割合。
- 5、PD平均 全検査対象歯周ポケット深さの平均値
- 6、1-3mm 7、4-6mm 8、7mm以上 全検査対象歯周ポケットのうち該当するmmのグループに属するポケットの数と割合。
- 9、MOB 動揺度の変化（上顎、下顎ごとにそれぞれ表示しています）

初診時 から 基本治療終了時の歯の動揺度検査（TM）測定結果を表します。
 タブを切り替えると、同様に 上、SPT① 下 SPT② に切り替わります。

7-2. チャートの見方

結果は測定日ごとにわかりやすく色分け表示しています。

ポケットチャート：

ポケット測定値を折れ線グラフで表示します。

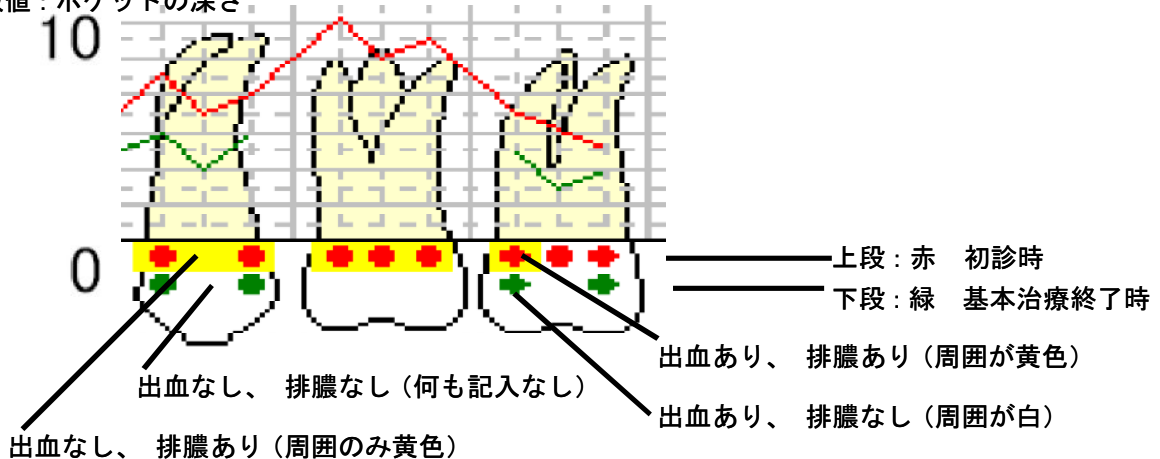
出血の有無：

出血ありの場合、ポケット位置に点を付けます。

排膿の有無：

排膿有りの場合、ポケット位置の出血ありと表示した点の周りを黄色く塗りつぶします。

数値：ポケットの深さ



表示色の説明

赤：初診時

緑：基本治療終了時

水色：SPT②

青：SPT①で表示します。

Furcationの表示について

上顎	Furcation																																																																																																				
下顎	Furcation																																																																																																				

初診時・基本治療終了表示の場合、結果は初診を。

SPT①・SPT②表示の場合、結果はSPT②を表示します。



健全歯以外の歯牙情報表示

右から

MT

ポンティック

インプラント

*健全歯以外の検査入力について

MT：歯根、歯冠ともなし。検査データ入力不可。

インプラント：ポケット測定、出血、排膿、動揺度の入力可。Furcation入力不可。

ポンティック：歯根なし、歯冠あり。検査データ入力不可。

7-3. 印刷見本

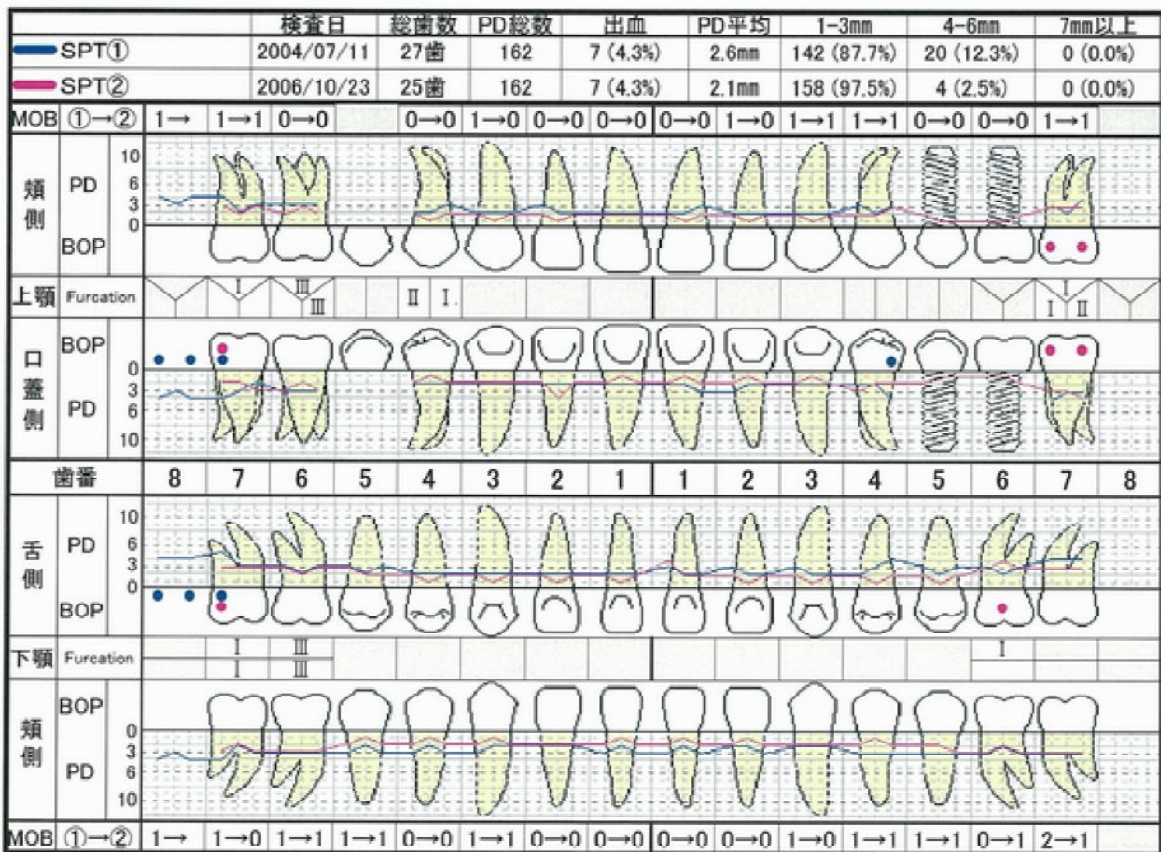
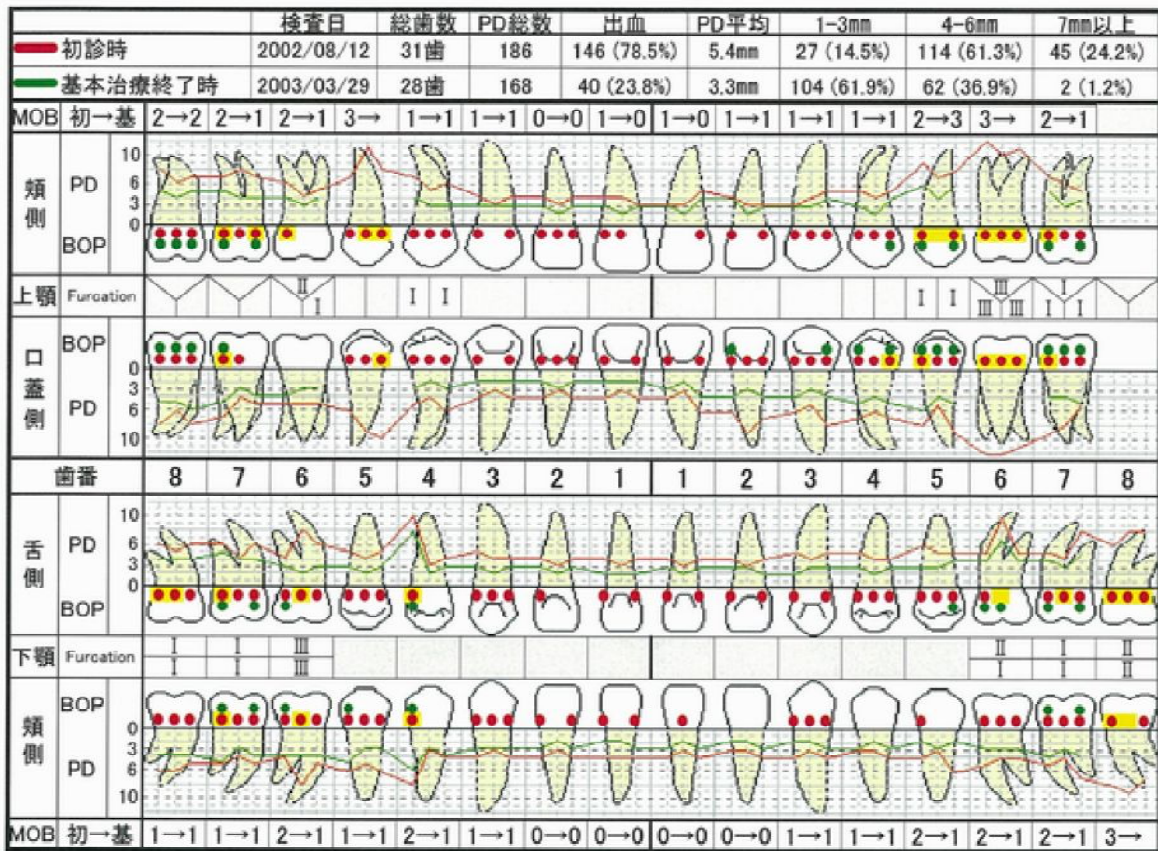
(詳細は次頁)

印刷見本内のFurcationの表示について

チャートの背景の歯の情報 上段：初診 下段：SPT②の状態を表示します。

Furcationで上段：初診のデータが未入力の場合は基本治療終了時のデータを表示します。

Furcationで下段：SPT②が未入力の場合はSPT①のデータを表示します。



*Furcation および 歯の情報表示は
上段:初診時、下段:SPT② が優先されます。

指導医氏名

印

7-4. 印刷

- 1、画面上の「印刷」ボタンを押します。
- 2、選択されている通常のプリンタへデータが出力されます。

印刷

7-5. 表示の終了

- 1、「入力画面に戻る」ボタンを押します。
- 2、検査データ入力画面へ移ります。

入力画面に戻る